

まつかわ

2学期終了 明日から年末年始休業

短い夏休みの後、寒い12月までの4ヶ月余りの2学期は、コロナ禍での松風祭、体育祭、新人戦、学年行事、生徒会選挙など様々な出来事がありました。長いようで短く、あっという間に過ぎたことでしょう。

3年生にとって、この休みは受験(受験)に向けての学習が中心となりますが、規則正しい生活を心がけ、進路実現に向けて努力できたと言える休みにしましょう。1、2年生も病気、ケガのないよう健康管理や落ち着いた生活を心がけましょう。起床、就寝時間の乱れが生活リズムを崩し、体力低下が病気につながりやすくなります。夜更かし等をして乱れるのはあっという間ですが、戻すのには1週間をはかります。睡眠時間、食事、運動のバランスを考え、充実した休みにしましょう。

【2学期終業式 校長先生の話より】

1年生は85日、2、3年生は86日間の2学期が本日終了します。11月に入ってから新型コロナウイルス感染拡大が始まり、現在第3波の中、年末年始休業が始まります。人の行き来が活発になる時期でもあります。常にマスクと手洗いを励行し、感染対策をとりながら楽しく充実した休みを過ごしましょう。

皆さんは今、長野県で取り組んでいる「ココロのワクチンプロジェクト」を知っていますか。コロナによる差別や誹謗中傷を起こさないようにしようというプロジェクトです。第三波がやってきている中、コロナに感染すること以上に、それによる差別や誹謗中傷が心配です。あつてはならないことです。だからこそ、このことについて事前にきちんと理解しておくことが必要であると考え、全校でダイジェスト版を通して考えてもらうことにしました。



まず長野県のホームページを開きます。すぐ下の新型コロナウイルス総合サイトにカーソルを合わせクリックします。ここに、「ココロのワクチンプロジェクト」はこちらとありますので、クリックしてください。

すると「ココロのワクチンプロジェクト」が始まります。やってみるをクリックしましょう。

「こんなときあなたがとりそうな行動、考えそうなことはどれでしょう？」いくつかチェックしてみましょう。

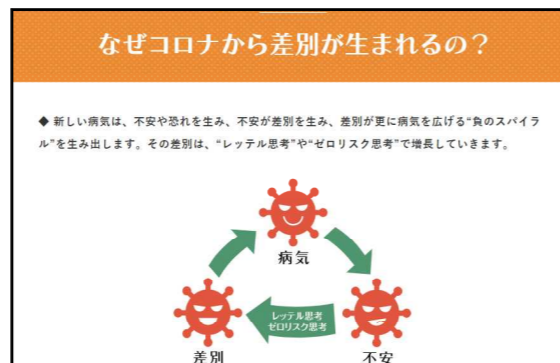
ということで **ケース1「よく行く飲食店が臨時休業になっていた。お店で感染者が出たという噂もある。」** さあ、そのときあなたはどうか。手を挙げてみてください。

- 1番目の設問** どうして(どんな状況)で感染したのかな。早く調べなきゃ。
- 2番目の設問** みんな知りたいからSNSで発信しておこうかな
- 3番目の設問** 近くのお店も行かない方がいいかも
- 4番目の設問** しばらく外食しないでおこう。

さあ、どうでしょう。あなたが選んだ回答はこのように分類されます。

- 1番と2番の設問に手を挙げた人は不安が2個となります。**
- 3番目に手を挙げた人はレッテルが1個。**
- 4番目に手を挙げた人はゼロリスクに1個となります。**

まず1番と2番の設問は不安や恐れがあるかどうかをみる設問です。不安は誰もが心に抱いている感情ですが、これが必要以上に増大して差別や誹謗中傷の原因となります。増大する原因が3番目のレッテル思考と4番目のゼロリスク思考です。この2つ



が不安や恐れが加わって差別、誹謗中傷へと発展していってしまうのです。レッテル思考とは設問のように「近くのお店に行かないほうがいいかも」即ち本能的にウイルスに関係しそうな人、職業、組織などにレッテルを貼って、まとめて遠ざけようとし、相手の事情や人間性などの側面が見えなくなり、過度に攻撃してしまう心理です。4番目の「しばらく外食しないでおこう」というゼロリスク思考は絶対に感染者を出してはいけないという雰囲気、感染者イコール患者といった間違ったイメージを作り出し、リスクに絶対に近づかないという心理です。

不安や恐れに感情にこのレッテル思考とゼロリスク思考が作用して、必要以上の不安や恐れとなり、差別や誹謗中傷がおこるといふメカニズムを私たちは理解しておく必要があります。ケース2 ケース3もありますが、時間の関係でカットします。

それでは、今の話をもとに**ケース4**に進みましょう。「**自分がすんでいる地域、身近な人にも感染した人がいる。感染症への対策はもちろんだけど、ほかに自分には何ができるだろう。**」

どうでしょう。自信をもって全ての項目で手をあげられたでしょうか。このプロジェクトでは最後にこう締めくくられています。

コロナ時代を生きるために、安心して過ごせる環境づくりについて

- ①感染はいつどこで発生してもおかしくないという認識を持つ
- ②万が一感染してしまったときの態度や行動についてあらかじめ考えておくことが大切です。

そして最後に、今必要なのは、思いやりや支え合い、そして心のつながり。

今日はダイジェスト版で体験してもらいましたが、家でもできる人はやってみてください。このような動画もついています。(動画の紹介)

最後にニックネーム パインリバーさんからのメッセージを皆さんに送ります。「**感染対策をしながら、思いやりと支え合いの気持ちを持って、充実した休みにしましょう。**」良いお年をお迎えください。



2020（令和2年）生徒総会での校長先生のお話

及川会長さんを中心に運営されてきた活動報告が承認されました。役員皆さん本当にお疲れさまでした。そしてバトンは大澤新会長さん、次期役員の皆さんに引き継がれました。皆さんの活躍に大いに期待しています。

さて、本年度生徒会では、前年度の引継ぎをして間もない2月の第3回生徒総会において、自分たちの力で学校生活を良くするために初めての「全校討論」を実施しました。その直後、新型コロナウイルスが猛威を振るい、3月には日本全国の学校が臨時休業となり、4月、新年度が始まってすぐに再度の臨時休業。学校が再開したのは5月25日のことでした。

そんな社会状況の中、生徒会最大の行事の文化祭は、皆さんの熱い思いが力となり、内容を変更しながらも開催することができました。この時のメインとなった企画の一つが、前年度の3学期に行った全校討論会でした。自分たちの手で、令和2年度の生徒会基本目標が達成できるように、今の学校生活のきまりを見直そうという目的で話し合いが行われました。

この時出された意見は、最近の異常な暑さの中で生活するには、Tシャツを出した方が体温調節には合理的である。靴下の色は汚れが目立ちやすい白に限定する必要があるのか。防寒着の色の指定があるが、そのために新しいものを買わなくてはならないこともあるので指定することが必要なのか。校外生活のきまりに自転車の遠乗りは生徒だけで行わないとあるが、自転車競技をしているので、保護者が許可すればよいのではないかという意見が出されました。時間の関係上、



途中で打ち切りとなりましたが、それぞれどうしてそう考えるのか、その理由をしっかりと述べることで、全校が一つ一つの意見を共有し、学校のきまりを納得のいくものにしていこうという機運が高まりました。



そこで、本日の生徒総会において、生徒手帳の「生徒会申し合わせ」について第3号議案として扱われ賛成多数で可決されました。

「学校のきまりについて」検討の経緯をお話します。まず原案についてPTAの役員の方にも相談させてもらいながら作成をしました。その後、現生徒会3役、そして生徒会役員の方々と意見交換をしながら、大枠を決定しました。改訂についての今後のスケジュールですが、2月の参観日において保護者の皆さんに説明をします。来年度に入り4月のPTA総会でも説明し、ご家庭への周知をはかりますので、実質的な運用は来年度からになります。

ただ、冬場に必要なこと、来年度の準備等に関係すること、全校討論で出されたことなどを中心に今からお話する、**4点については3学期から先行して実施したいと思います。**

1つ目が防寒着です。細かい規定をはずします。全校討論でも出されたように、家にあるものを着てこられるようにしました。但し学校のロッカーに収まるもの。**2つ目が靴下**です。これも全校討論で出されていました。白以外にも黒、紺を基調とするものも認めていきます。**3つ目が下履き**です。今まで色の指定をしていましたが、これも防寒着と同様に、家にあるものも履いてこられるように細かい規定を外します。体育で使える靴という条件はつきます。**4つ目が清掃時の白帽**です。今まで通り手ぬぐいは継続とし、白帽でもよいということとします。衛生面から考えると手ぬぐい、白帽どちらでも良いという判断です。この4点以外については、3学期も継続です。

今回、学校のきまり、生徒会申し合わせ等、生徒手帳に記載のある項目について改訂を行いました。

この改訂の精神は、社会の中で通用する人になるために、学校目標である「自ら考え、正しく判断し、行動している生徒」の実現に向けて、ルールについて必要最小限にしようとしたことです。書かれていないから良いのではなく、書かれていない部分を考えることを大切にしていこうという精神です。

3学期はまだ、今の学校のきまりにそって生活していかなければなりません。**今のルールをしっかりと自覚し行動しながら、一人一人が公の場で通用する自分を確立するスタートの時にいきましょう。**

保護者の皆様へ

- ・年度末のご多用のところ、保護者懇談会においでいただき、ありがとうございました。また、『学校評価アンケート』へのご協力ありがとうございました。今後の教育活動にいかして参ります。なお、集計結果につきましては1月にご家庭に配付させていただく予定です。
- ・冬休み期間中、県外に行く場合はどうしたらよいかという問い合わせがありました。学校への申請の必要はありません。長野県の感染対応方針「陽性者が多発している地域への訪問等」に沿って、保護者の責任で行動していただくようお願いいたします。
- ・安心ネットづくり推進協議会から出されている「安心協ニュース」も掲載しました。ぜひご家庭でインターネットやSNSなどを安全に使うための話し合いの機会を取ってみてはいかがでしょうか。
- ・推薦映画は長野県のホームページに掲載されています。県内の9つの映画館では、推薦映画を対象とした料金割引サービスが行われるそうです。以下のURLをご覧ください。

<https://www.pref.nagano.lg.jp/jisedai/kyoiku/kodomo/shisaku/suisentosho/ega.html>

(※「長野県 推薦映画」と検索をすると上位で出てきます)

- ・非違行為防止に向けた研修を重ねてきております。飲酒運転撲滅、体罰根絶、セクハラ・パワハラ防止など、松川中学校から非違行為を絶対に出さないよう、今後も教育公務員としての自覚を持って取り組んで参りたいと思います。なお、気になることがありましたら、学校までお知らせください。

1億人のネット宣言
もっとグッドネット
安心協ニュース
ANSHIN internet
令和3年 一冬号

ツールを安心に使おう

ギガスクール構想で中学生のみなさんに、ひとり1台タブレットやパソコンが渡されてきています。勉強に役立ってますか？学校から渡されるタブレットなどには、みなさんが安心して勉強に使えるようにあらかじめフィルタリングなどの仕組みが組み込まれています。個人でスマホなどを持つことも増えていきます。SNSを安全に使うにはどうすればよいかなど保護者の方と話し合ってみましょう。

動画を楽しむ

新型コロナウイルスの影響で、家で過ごす時間が増え、パソコンやタブレット、スマホなどで動画を楽しむことが増えています。みなさんはどのように動画を楽しんでいますか。たとえば小学生のみなさんはYouTube Kidsなどでは、保護者の方の設定で、年れいにあわせて動画を見ることができ、安心して楽しむことができます。ところが、一般のインターネット上には小中学生にふさわしくない動画もたくさんあります。保護者の方と確認しながら一緒に注意して楽しんでください。

協力：グーグル合同会社 YouTube Kids

歳時記

お正月を過ぎると寒の入り、一年で一番寒い時期をむかえます。みなさんは何を遊ばしますか？雪合戦をしたり、かまくらや雪だるまを作ったりするのも楽しいですね。でも、かぜをひかないよう、密にならないように楽しんでください。

安心ネットづくり推進協議会からのお知らせ

令和3年1月1日より違法にアップロードされた著作物のダウンロード規制の対象が著作物全般(漫画、書籍、コンピュータプログラムなど)に拡大されます。違反すると2年以下の懲役・200万円以下の罰金が科せられることになりましたので気をつけてください。